

森田校長の補教指導案（超略案）NO29

- 1 単元名 植物の種取りをしよう・種まきをしよう！
- 2 ねらい 様々な植物の種取りや種まき作業を行い、花いっぱいの学校づくりに意欲的に参加させる。
- 3 展開

	学習活動	○留意点 ◎評価など
始	1 ナノハナの種の写真を見せ、何の植物か当てる。	○ナノハナの花を提示してヒントとする。
中	2 校庭を花いっぱいにしてくれた植物の種とり作業を行う（ナノハナ4月 コスモス12月） 3 花と種の関係から、生命の連続性について知る。 4 種の大きさや色、形について観察する 5 校庭に出て、種取りを行う。 6 種取りした後の花壇の整地を行う。 7 種を配布用に袋に入れる作業を行う。	○校庭の花が種を付けてきたか確認を行い、計画的に種取りをする。 ○小さな種がたくさんの花を咲かせる不思議な世界に、興味関心を高める。 ○袋を配布し、種取りの方法を実演する。 ○後片付けもきちんと指導する。 ◎進んで作業を行い、楽しく活動できているか。 ○児童に配布し、余った種は谷保駅に置いて自由に持ち帰ってもらうようにする。
終	8 学習の振り返りをする。	◎皆で協力して学習できたか。

- 4 その他・準備するものなど

種取りのためのビニル袋用意、ナノハナ、コスモスの種と花の写真を用意

森田校長の補教指導案（超略案）NO30

- 1 単元名 植物マジック遊びをしよう！
- 2 ねらい カタバミの葉っぱで10円磨きや夏ミカンの油点花火実験等で、植物マジックを楽しむ。
- 3 展開

	学習活動	○留意点 ◎評価など
始	1 植物マジック遊びとは、どういうものかを知る。	○植物の特徴を利用して、驚きいっぱいの体験活動を行い、興味関心を高める。
中	2 カタバミの花や葉の写真を見せて、これまでの見たことや遊んだ事、生活経験などを聞く。 3 カタバミ実験の方法を知る。 4 子供に、カタバミの葉をたくさん採集して、10円玉の上で絞るようにしてこする。 5 ミカンの油点花火実験の方法を知る。 6 なぜ燃えるのかを子供なりに考えてみる。 7 様々なおもしろい実験があることを知る。	○事前に校庭のどこにあるか調べておく ○葉っぱをかじってみると、酸っぱいことを確認する希望者のみ)。シュウ酸。 ○10円玉を人数分用意しておく。 ◎懸命に磨き真剣にきれいになっているか。 ○火を使う実験なので安全第一で行う。 ○リモネンという物質があり、それが発火する様子をよく見させる。 ◎植物マジックに興味関心がもてたか。
終	8 学習の振り返りをする。	◎植物科学マジックに興味があつたか。

- 4 その他・準備するものなど

10円玉人数分、事前のミカンの木を確認しておく。ろうそく、マッチなど。